



昔の地神様の大松(樹齢約150年)

地神様を知っていますか

柏谷の神様と言えば、日枝神社の神様、八坂の神様を思い浮かべる人が多いでしょう。お祭りも日枝神社例大祭、八坂の祭典(お天王さん)として、多くの区民が参加しています。しかし、そんな大神だけでなく、地域の民衆をお守りする地神様が地域には沢山あります。間宮の山之神、日守の地神尊などです。

柏谷の地神様は、東中の東側の小山の上にあります。長寿会作成の縁起札には、文覚尚人と頼朝の関係が記されています。この地神様を、人々は鎮守様と呼び、地域への疫病の侵入防止、五穀豊穰のための守り神として祀っていました。そして、この場所には一本松とよ呼ばれ(函南町には一本松から六本松まで地名が存在します)、道祖神のような地域の入り口にある道しるべにもなっていたものと思えます。また、この場所は柏谷の裏鬼門(柏谷の南西)に当たることから、人々に敬われたとも言われています。



現在の地神様とその横に立つ縁起札

柏谷の地を守る地神様を象徴する場所であったことが想像されます。そして縁起札にある、文覚尚人と頼朝が源氏再興を語り合ったという場面が目につかびます。

【縁起札の内容】
◎文覚尚人が源頼朝を伴って、この場所から富士山を展望し、「天下人たる者は、あの富士の様に泰然として人々から畏敬される仁徳を持たなければならぬ。」と教えた。



源 頼朝



文覚尚人

★文覚尚人(もんがくしょうにん)
攝津源氏の一派の武士で、上皇を警護する北面の武士。19歳で出家し真言宗の僧侶となるが、後白河天皇に京都高雄山 神護寺の再興で逆鱗に触れ、伊豆の奈古谷、国清寺に流され、この地で源頼朝の知遇を受けた。
文覚尚人(上人)は、柏谷の六万部寺尼寺にて、頼朝の亡父日参の際に、源氏旗あげを勧めたと記録にある。

頼朝が天下人となって以降は、頼朝の要人となり、神護寺の中興の祖として大きな影響力を持っていた人物。頼朝没後は、政治問題で後鳥羽上皇により対馬への流罪の途中で亡くなったと歴史書にはある。

★埴安之神(はにやすのかみ)
イザナミが死ぬ寸前に出したウンコから生まれた土の神(その土地、土壌の神)

(栗)

◎文覚らしき人物が、稲妻池からの治水法を教え、荒地を水田に変え、収穫を数倍にした。その人物の死後、土壌を守る神(地神)として埴安之神と共に祀られた。



昭和天皇御在位60年記念樹の碑

地神様 〜柏谷の祭〜



1年間を振り返り、あいさつをする岩崎祭典委員

地神様の式典は、例年3月上旬の日曜日に行われています。この日は厳島神社の式典もあり、厳島神社の式典終了後、参列者が地神様に移動して式典を行うのが通例となっています。今年も3月8日の日曜日、冷たい雨の降り続く中で式典が行われました。
また、地神様の式典が、柏谷区のその年度の最後の祭典となることから、1年間頑張ってくれた祭典委員の皆さんの労をねぎらいました。

※ところで、「地神様」と書いて何と読むかお分かりでしょうか。実は「地神」の読み方はいろいろとあります。「ジジン」「ジシン」「ジガミ」「チノカミ」などと様々に呼ばれています。その土地をお守りくださる神様の総称のようなもので、それは田の神であったり、木の神、山の神であったりします。ですから、どの呼び方が正しいというものでもなく、人々が親しみを込めて呼んでいけば、どの呼び方も正しいということになります。

なお、地神様の詳しい縁起などについては、次頁の特集をご覧ください。



むかーしむかしのことじゃったあ。肥後の国の海で毎晩のように光るものが現れている、という噂が出たのは。そう、時は江戸時代末期の弘化3年。西洋の暦でいうところの1846年のこと。そいつは鳥のような鋭いくちばしをもち、身体はウロコに覆われ、三本足で立つ「アマビエ」という妖怪じゃった。そして村の者にこう告げたと。「われはアマビエなり。疫病が流行したらワタシの姿を絵に写し、人々に見せるがよい…」これが江戸のまちに伝わり、疫病が流行った年には、このアマビエを描いたかわら版が刷られ、人々の守りの札として大切にされたそう。めでたし〜めでたし。
ということで、新型コロナウイルスの感染拡大が予想され、多くのかたが不安に襲われ始めた中、私が奉仕する神社でもその御神徳にあずかるうではないかと、手書きのアマビエ御札を作成し、皆様にお配りすることにした次第です。日々の祈りと共に、皆様が不安に押し潰されて心を病んだり、疑心暗鬼になったり、攻撃的になったりすることなく、日本人の美德を持ち続け、穏やかに過ごすことができますようにと願いを込めて書いております。報道で取り上げていただいた事もあり、たくさんの皆様に求めていただきましたが、

若干気になるのは呼び名を「アマエビ」と認識している方が2割ほど。昨日はなんと「ムキエビくさーい」と頼まりました。あいよっ！イキの良いの入ってるよ！と答えました。心の中で。
さて、瓦版に書かれた絵は若干怖い感じがするので、「見ていただくお札」としては優しい癒される感じの方がよいだろうと思い、少々デフォルメしましたところ、ふくよかできよく食べる人、みたいな絵になってしまいました。

これ宮司に似てるじゃん、と何人かにコメントされ、勿体なくも恐れ多い気持ちになりましたが、体型の事をおっしゃっていたのだと気付いてしまった。太った妖怪に似てる宮司か…

